

復興道路《三陸沿岸道路》

三陸沿岸道路 やま だ み や こ 山田宮古道路(山田IC～宮古南IC)
平成29年11月19日(日)に開通します。

国土交通省が事業を進めてまいりました三陸沿岸道路のうち、「山田宮古道路」(山田IC～宮古南IC) 延長約14kmが**平成29年11月19日(日)に開通**することになりました。

今回の開通は、復興道路・復興支援道路の**震災後事業化区間では初めての開通**になります。

今回の開通により、開通済みの山田道路(延長7.8km)、宮古道路(延長4.8km)が繋がり延長約27kmの高速ネットワークが形成されることになり、宮古市、山田町を中心とした三陸沿岸地域の早期復興を力強く後押しします。

＜今回の開通による主な整備効果＞

- 三陸沿岸地域の命を繋ぐ緊急輸送道路を確保
- 三陸沿岸地域がより近くなり観光振興を支援
- 輸送時間短縮による地域の水産業を支援
- 三陸沿岸道路を活用した物流の活性化に期待

1. 開通区間

三陸沿岸道路 山田宮古道路(山田IC～宮古南IC) 延長約14km

※今回の開通区間は、これまでと同様に無料で通行できます。

※今回の開通区間は、自動車専用道路であり、歩行者、自転車、軽車両、125cc以下の二輪車は通行できません。

2. 開通日

平成29年11月19日(日)

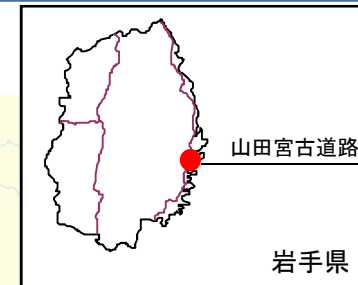
※当日の開通時刻、開通式典等については、後日お知らせします。

＜記者発表会：岩手県政記者クラブ、宮古記者クラブ、東北専門記者会＞

問い合わせ先

国土交通省	東北地方整備局	三陸国道事務所	TEL (0193)-62-1711
	副所長(改築担当)	<small>ひらおか</small> 平岡 <small>ひろし</small> 弘志	(内線204)
	工務第一課長	<small>たけだ</small> 武田 <small>てつひで</small> 哲英	(内線411)

三陸沿岸道路 山田宮古道路（山田IC～宮古南IC） 位置図



三陸沿岸地域の命を繋ぐ緊急輸送道路を確保

- ◆東北地方太平洋沖地震(H23.3.11)では、大津波により道路が浸水し、交通ネットワークが寸断
- ◆平成28年8月には、台風10号により各地で道路浸水や陥没など甚大な被害が発生
- ◆山田宮古道路の整備により津波浸水区域を回避できるほか、国道45号災害時のリダンダンシーを確保

▼三陸沿岸道路ルートと迂回ルート



- 凡例**
- ⊗ 津波による通行止め箇所 (H23.3.11)
 - ⊗ 台風10号による通行止め箇所 (H28.8.30)
 - 開通済区間
 - ⋯ 事業中区間
 - ⋯ 山田宮古道路 (事業中)

※通行止実績：岩手県、三陸国道事務所
 ※所要時間・距離：H22道路交通センサス (開通区間は規制速度にて算出)
 ※迂回路は緊急輸送道路より設定

▼津波浸水区域と山田宮古道路 (山田IC周辺)



今回開通
 山田宮古道路
 約14km

▼津波による国道45号の路面崩壊 (山田町)



▼台風10号による被害状況 (宮古市金浜)



▼台風10号による被害状況 (宮古市役所前)



資料：三陸国道事務所

現状迂回ルート
 : 約131分(98.9km)
 三陸沿岸道路開通時
 : 約25分(26.3km) ⇒開通により迂回時間は約8割短縮
 ※宮古市役所～山田町役場間で算出

三陸沿岸地域がより近くなり観光振興を支援

- ◆三陸沿岸地域は、震災遺構や三陸ジオパークなど豊富な観光資源が存在
- ◆宮古港～室蘭港間で、新たなフェリー航路が開設(岩手県初の運航)
- ◆北海道からの震災ツアー等の観光需要が期待されるなど、三陸沿岸道路等を活用した周遊型観光の活性化を支援

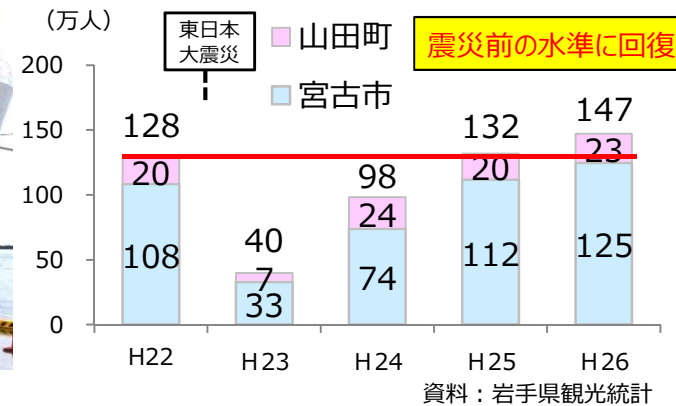
▼三陸沿岸地域に広がる震災遺構・ジオサイト等



▼平成27年11月に宮古港でフェリー乗船会が開催され、カーフェリー「シルバークイーン」が寄港



▼ 宮古市・山田町の入込客数推移



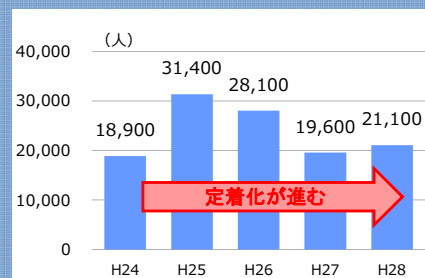
【各地で実施されている震災学習】



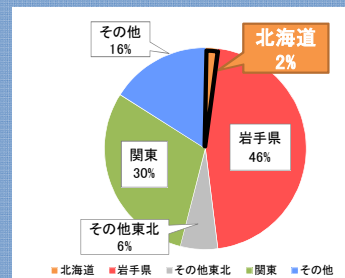
▲学ぶ防災ガイド(宮古市)



▲語り部ガイド(陸前高田市)



▲震災学習「学ぶ防災」ガイド 参加者数(宮古市)



▲「学ぶ防災ガイド」地域別参加学校内訳 (H28,全110校)

【三陸沿岸に点在する震災遺構】



▲たろう観光ホテル(宮古市)

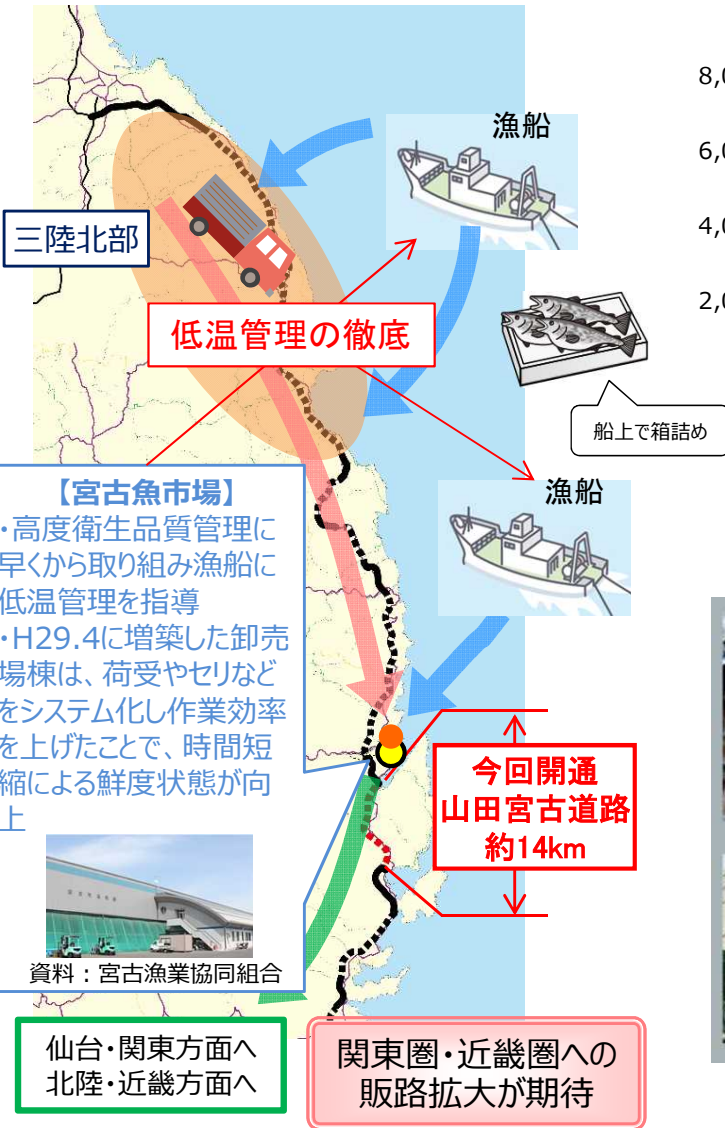


▲奇跡の一本松(陸前高田市)

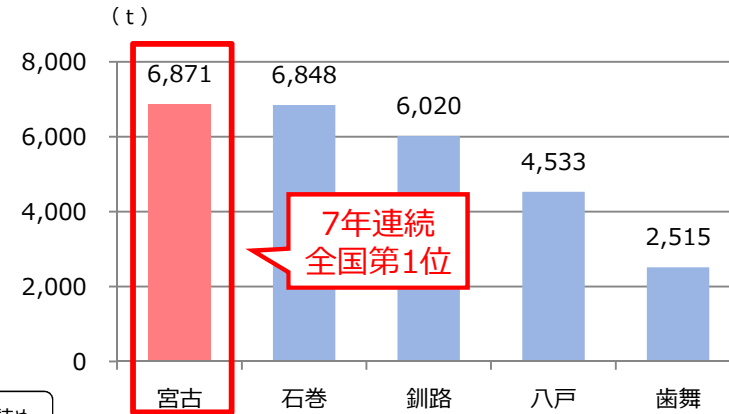
輸送時間短縮による地域の水産物を支援

- ◆宮古魚市場のある宮古港のマダラ水揚量は漁港別で7年連続全国1位
- ◆三陸北部でとれたタラは鮮度管理評価の高い宮古魚市場に集められており、宮古魚市場のタラ水揚高は震災以前より増加
- ◆輸送時間短縮による更なる鮮度向上や、関東圏等への販路拡大が期待され、地域の水産物を支援

▼三陸北部からの輸送ルート

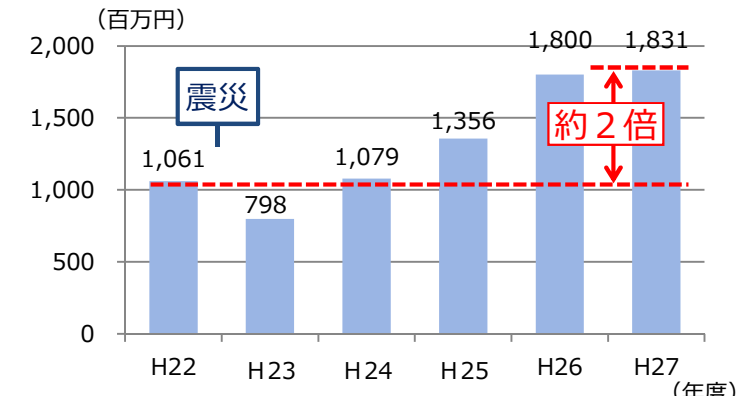


▼漁港別マダラ水揚量



資料：平成27年産地水産物流通調査（水産庁）

▼タラの水揚高推移（宮古魚市場）



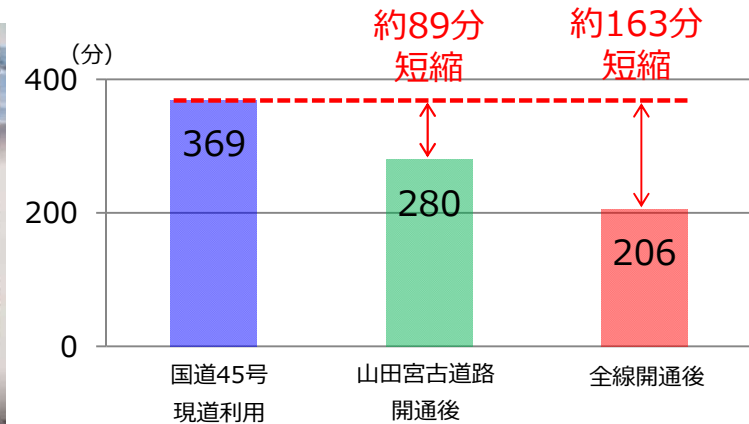
資料：宮古市水産課「宮古の水産」

▼宮古の「マダラ」PRポスター



資料：岩手県ホームページ

▼宮古⇒仙台の所要時間

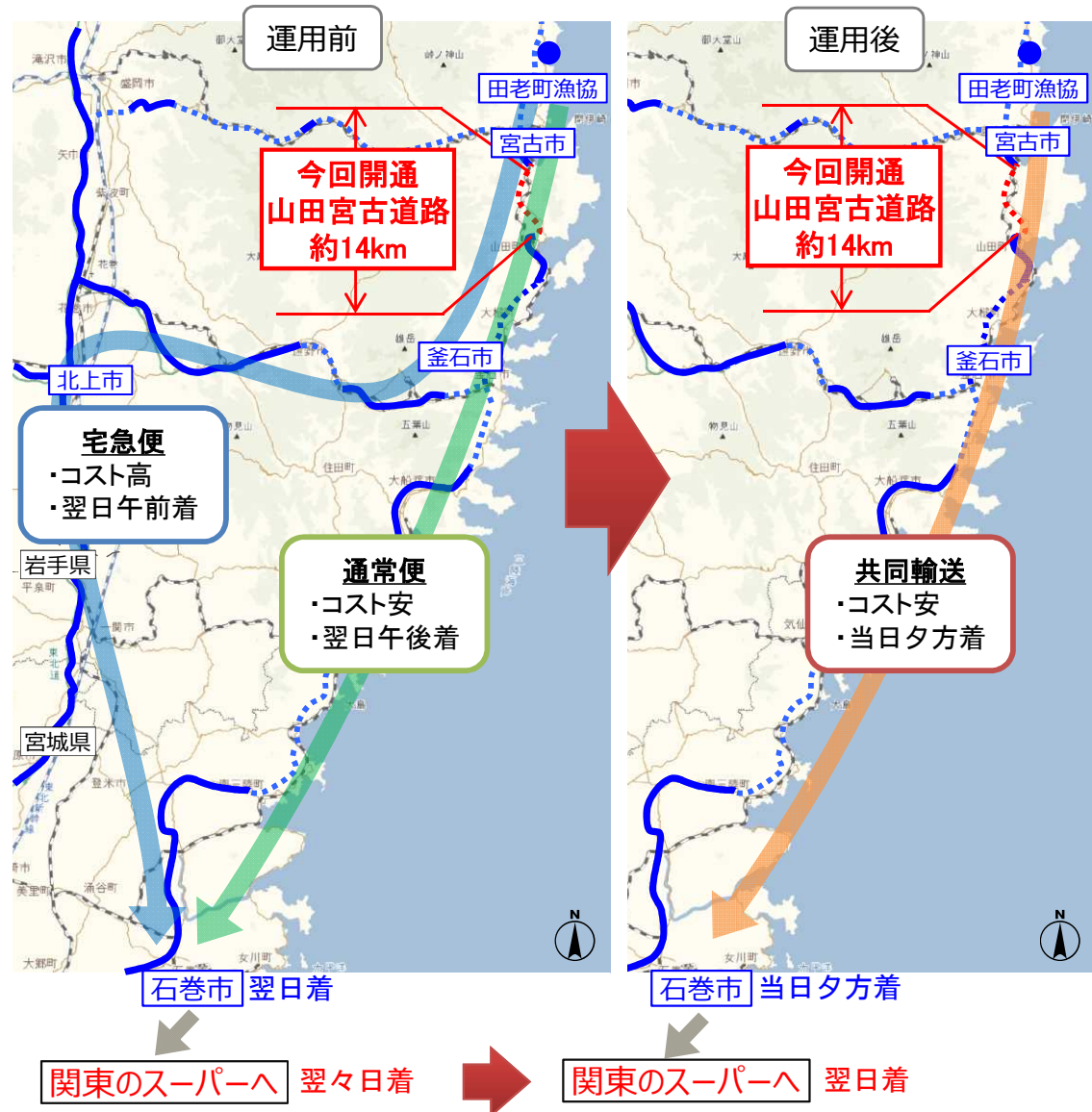


※宮古市役所～仙台市役所間
※所要時間は一般道はH22道路交通センサス（非混雑時旅行速度）、事業中区間は規制速度により算出

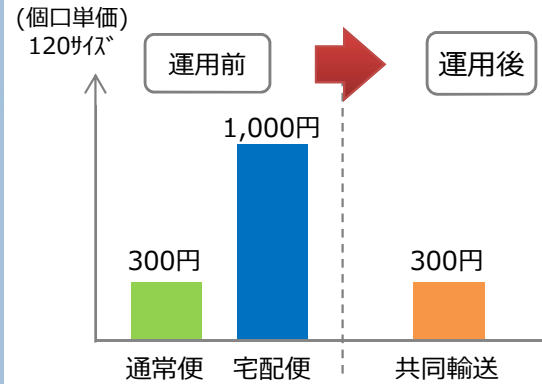
三陸沿岸道路を活用した物流の活性化に期待

- ◆三陸沿岸道路の整備を機に、大手運送業者が新たな物流ルート(共同輸送)を構築
- ◆輸送コストの削減による地域水産業の競争力向上や出荷量増加に期待
- ◆輸送時間の短縮による関東圏への翌日配送が実現、早採りわかめ「春いちばん」や生うにの販路拡大が期待

▼共同輸送による運行方法の変化

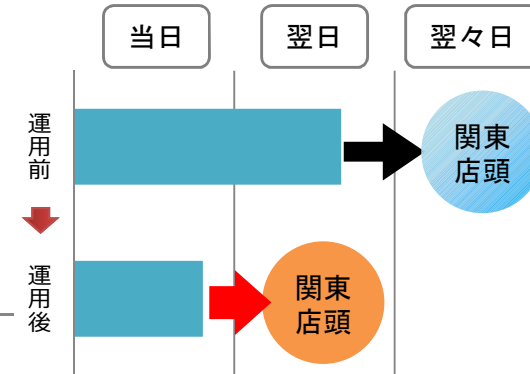


▼田老町漁協から宮城県までのコスト



競争力向上、
出荷量増加に期待

▼田老町漁港によるわかめの輸送スケジュールの変化



生鮮品の関東圏等への
販路拡大が期待

▼早採りわかめ「春いちばん」



資料：いわて銀河プラザホームページ

▼生うに



資料：岩手県観光協会、株式会社かくりき商店ホームページ

※H29.2ヤマト運輸ヒアリング結果、H29.3田老町漁協ヒアリング結果より作成